

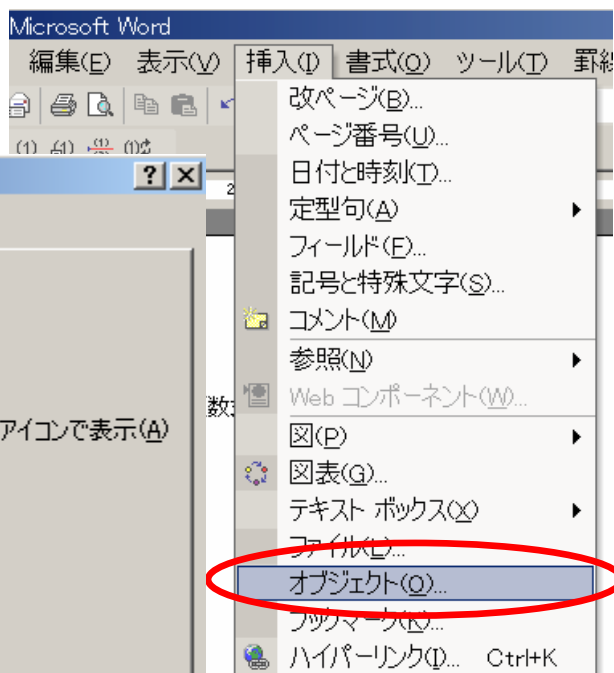
Wordに「数式を挿入」する。

1. Wordのメニューで

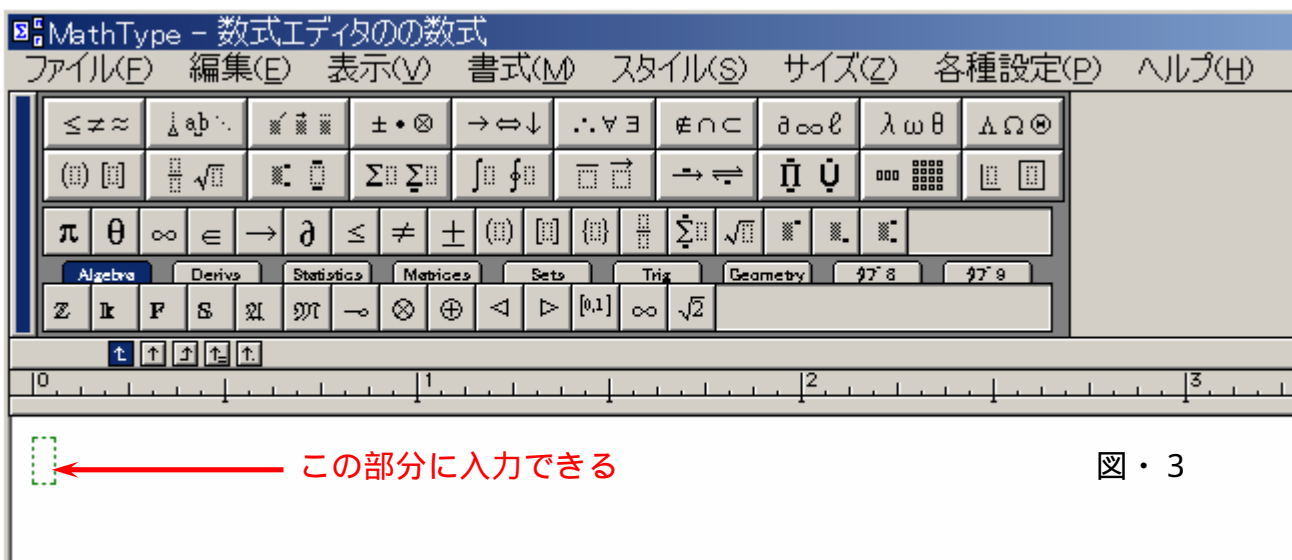
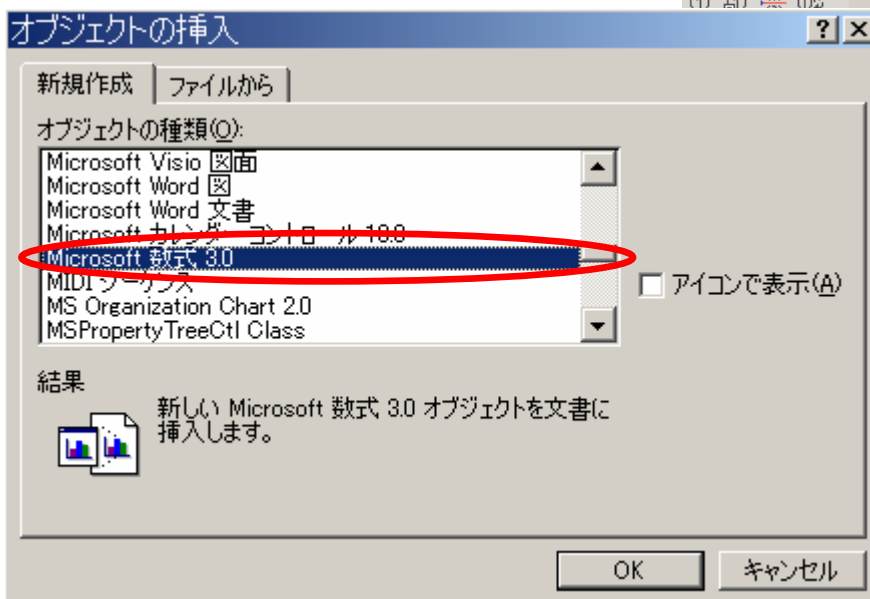
「挿入」「オブジェクト」(図・1)を選択します。

2. 「Microsoft 数式 3.0」を、「新規作成」のタブをクリックして探し、選択してから、「OK」をクリックします。(図・2)

図・1



図・2



図・3

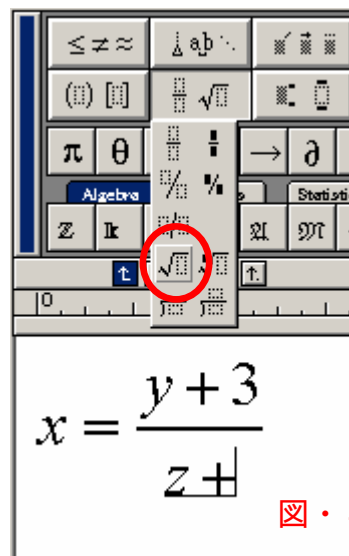
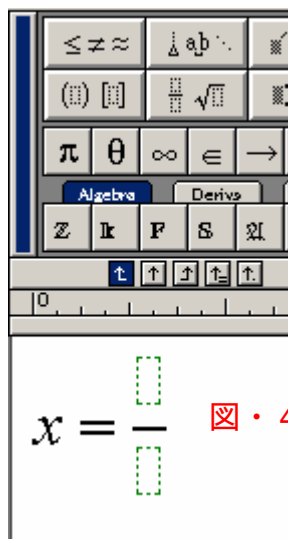
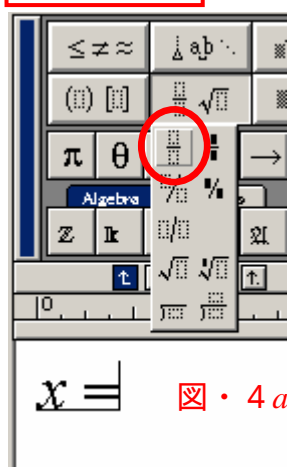
3. 「挿入されたエリア」をダブルクリックすると、図・3のような編集ウィンドウが開きます。

私はアドバンスドバージョンの「MathType 4.0」を使用しているため、ウィンドウの様子は若干異なっています。「入力エリア」は点線で囲まれています。

数式の作成例

例えば、次の式を作成してみましょう。

$$x = \frac{y+3}{z+\sqrt{a+b}}$$



図・4 aは分数の手前までを入力して、「分数」を選択しようとしている所です。

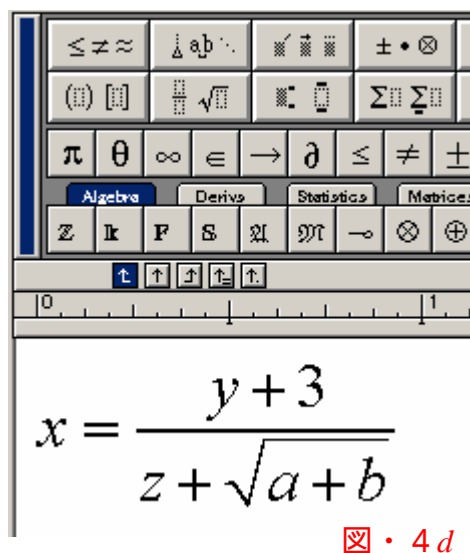
選択が終了すると、図・4 bのように、分母・分子に入力が可能です。

図・4 cはそのまま入力できる所までを入力して、「平方根」を選択しようとしている所です。

図・4 bなどと同様に「根号」の中に点線で囲まれた「入力部」ができますから、必要な文字を入力します。

図・4 dは入力終了した所です。

右上の「x」をクリックしてウィンドウを閉じれば最初に示した通りに数式がWord文書に入ります。

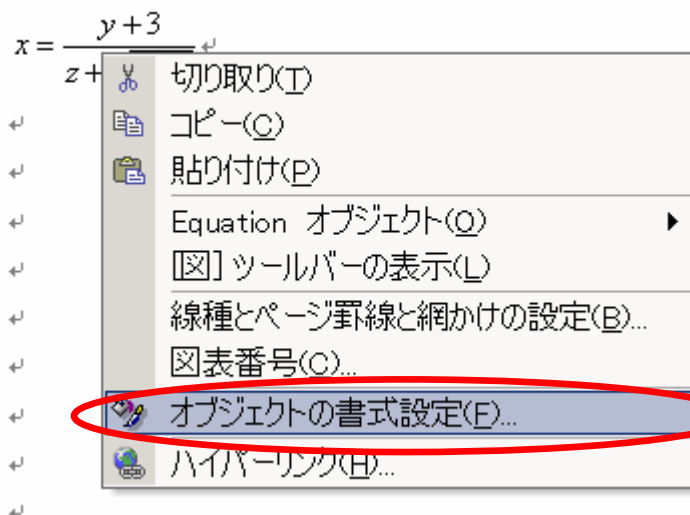


「新規作成」直後にやっておいた方がよい事を説明します。

今作成した「数式」の上で右クリックして、

「オブジェクトの書式設定」を選択します。(図・5 a)

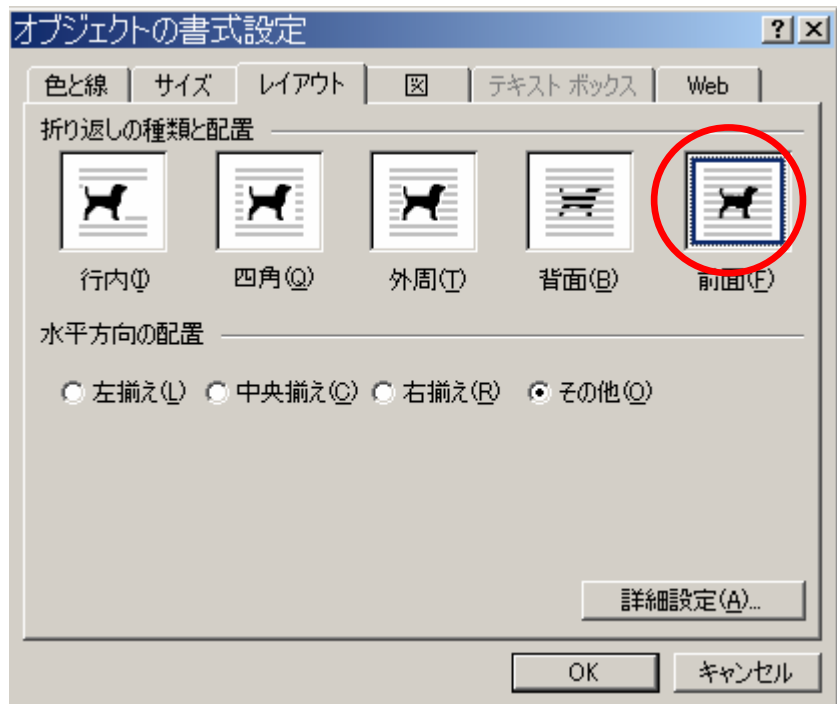
図・5 a



「レイアウト」タブをクリックして、「前面」を選択します。通常は「行内」になっていますが、「前面」にしておけば任意の位置への移動が楽です。細かい事ですが、「詳細設定」で、配置場所を微調整する事もできます。

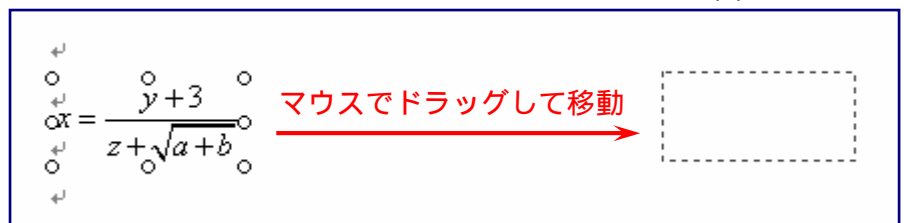
「オブジェクト」についてはこの操作は全て同じですから、図や写真をWordファイルに貼り付ける場合も同じ操作をしておくのが良いでしょう。

図・5b



図・6a

数式の場所を移動したい場合は「数式」の上で左クリックすると、図・6aのように選択範囲が表示されますので、左クリックしたままでドラッグする事により、移動が可能です。



移動先は、図・6aの右側に点線で示されるように途中表示が出ます。



マウスを離すと、図・6bのように、その位置への移動が完了します。

図・7a

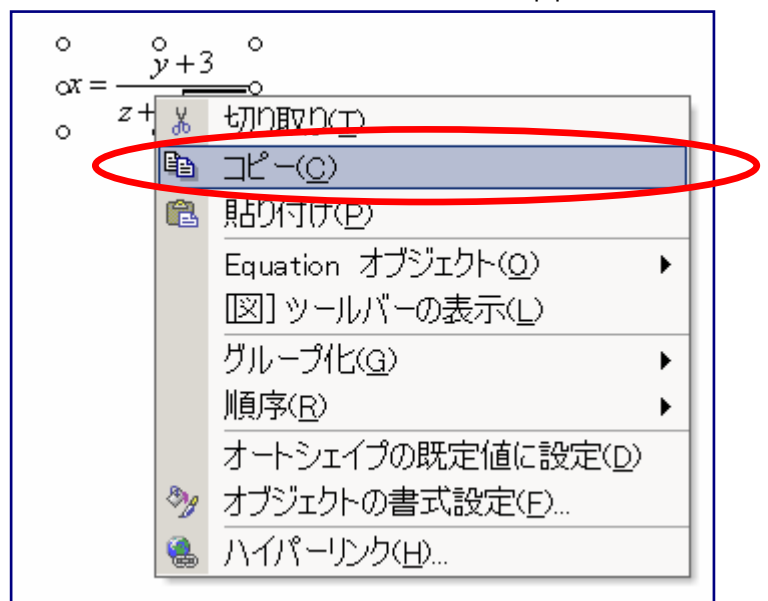
「数式」は複写して、一部を変更して使用する事もできます。

「数式」の上で右クリックして表示されるメニューから、図・7aのように「コピー」を選択します。

前の数式をコピーして、次の式を作成してみましょう。

$$x = \frac{y+3}{z^2 + \sqrt{a+b}}$$

前の式で、Z Z²、と変更したものです。

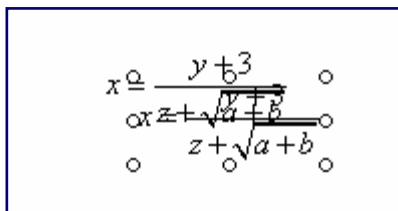


「コピー」を実行したら、数式オブジェクトはクリップボードにコピーされています。

Wordファイルの上で右クリックして、「貼り付け」を選択（図・7b）します。

貼り付けた直後は、通常、二つの数式が図・7cのように重なって表示されてしまいます。

図・7b



図・7c 「貼り付け」直後

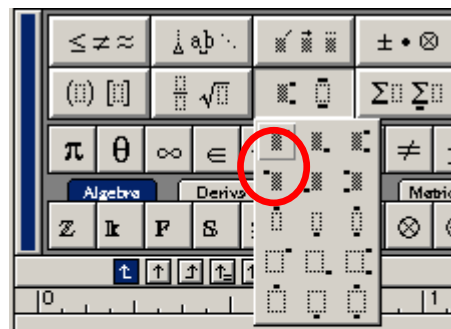
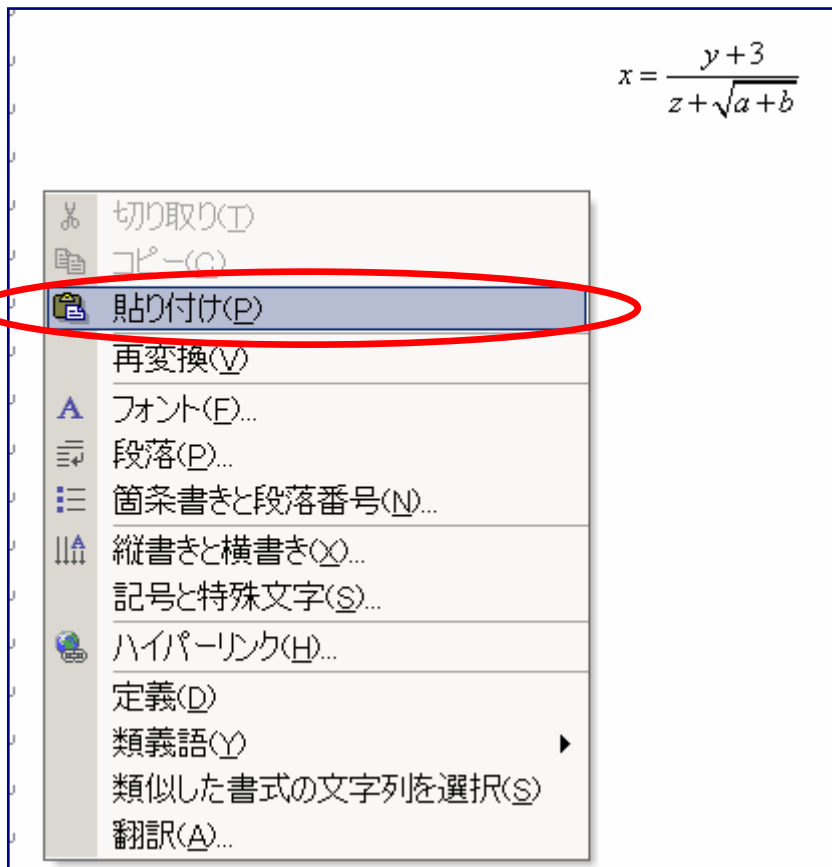
まず、「編集したい方」をマウス左クリックで掴んで場所を移動してから、ダブルクリックして図・8aのように編集ウィンドウを開きます。

「べき乗」を記入しますので、「Z」の右側にカーソルを移動してクリックしてから、図・8aの赤丸部を選びます。

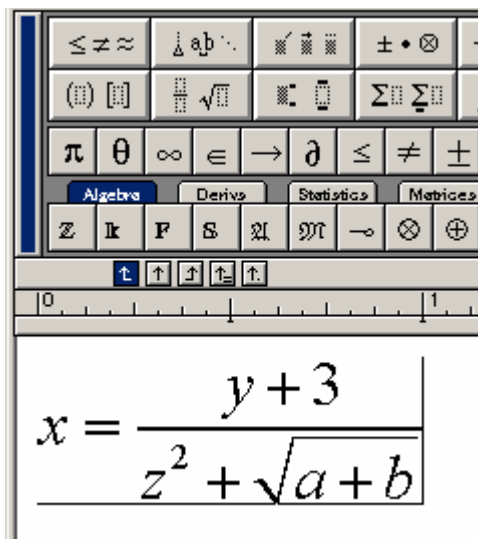
図・8a

図・8bのように、「Z」の右肩に点線囲み部分が表示されますので、この部分に「2」を入力します。

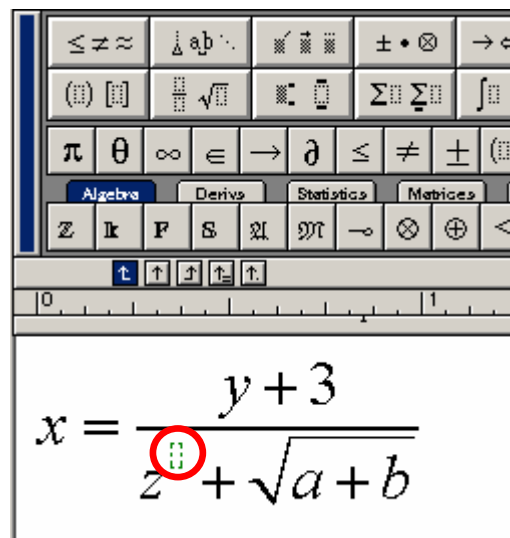
図・8cで完成しました。



図・8b



図・8c



編集ウィンドウを閉じれば完了です。

このように、「似た式をコピーして新しい式にする」「間違っていた式を修正する」などが、簡単に行えます。



のメニューをクリックして、「何ができるか」を学習しておくとも便利です。

是非、活用しましょう。